

「第 10 回 暮らしを支える在宅医療・介護・福祉を考える市民の集い」

彩の国いきいきセンターすぎとピア において「第 10 回 暮らしを支える在宅医療・介護・福祉を考える市民の集い」が、令和 5 年 1 月 29 日(日)に開催されました。

今回は【離れて暮らす親の介護】をテーマに、介護作家・ブロガーの工藤広伸 氏(通称くどひろ さん)をお迎えし、いざという時のためのポイントとコツについて、ご講演していただきました。

介護に興味がなかったり、まだまだ他人事と思ったりしている人が多いと思いますが、その日は突然やってくるかもしれません。他ではなかなか聞くことができない体験談は、多くの発見や驚きに溢れていて、私達のこれからに、とても役立つ学びとなりました。お話上手で分かり易かった講演は大好評で、参加者からは多くの感銘の声が届きました。

そして、第二部は専門職の皆さんと工藤さんを交えてのトークセッションでした。地域で働いておられる方々のお話は、身近に感じられたことと思います。



また、ロビーでは、地域の事業所によるポスター展示や相談会も行われました。コロナ禍で、ここ数年は思うような形で開催することができませんでしたが、少しずつ以前のような活気を取り戻してきています。今回参加してくださった方も、そうでない方も、また来年楽しみにお待ちしております。そして、ぜひ会場に足をお運びください。



★「市民の集い」とは、幸手市・杉戸町・北葛北部医師会の主催で、地域の医療・介護・福祉のつなぎ役として地域の皆さまと共に住み慣れた地域で自分らしく人生を過ごす為に一緒に考える催し物です。
毎年 1 月下旬ごろに、幸手市または杉戸町で開催しています。



菜

の

は

な

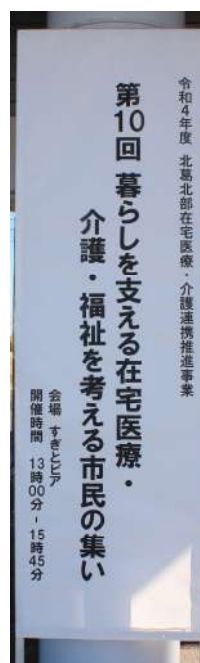
便り



2023・冬号



発行責任者
地域ケア拠点
菜のはな
室長 中野智紀
Vol.18



子育て応援まつり 遊&愛（幸手）



令和4年12月11日(日)

『第16回子育て応援まつり』が、ウェルス幸手で開催されました。「菜のはな」は、メディカルキッズニアというコーナーで参加して、「いのちの授業」をおこないました。

手術着に着替えた子供たちは、お医者さんになりきり、しっかりと、お父さん、お母さんの診察をしていましたが、初めて聞く心臓の音におっかなびっくり！！

まだ体験が難しい年齢のお子様も、聴診器や血圧計に興味を持ってくれて、医療従事者としては本望です。

来場されたご家族に合わせ、多様な形での対応となりましたが親子触れ合い職業体験を十分に楽しんでいただけたかと思います。完全予約制ということで、たくさんのお子さんに体験していただくことが出来ず残念でしたが、また来年、多くの笑顔に出会えることを楽しみにしています。

そして、お子様たちがいつの日か、私達と一緒に働いてくれる日が来てくれたら、とても嬉しく思います。

また今年は、木村市長とさっちゃんが立ち寄ってくださり、場を盛り上げてくださいました。この場を借りて改めて御礼申し上げます。



菜のはな 秋元さんが講師に

令和5年1月16日(月)

菜のはなコミュニティナースの秋元里美さんが、日本保健医療大学看護学科の非常勤講師として「地域・在宅看護概論Ⅰ（地域における看護）」の授業をおこないました。

地域包括ケアシステムについて、コミュニティナースの仕事を通して、分かり易く丁寧に教えてくださいました。なかでも、保健師活動の歴史から、これからの公衆衛生看護を考えるお話は、学生の皆さんにとっても興味深かったのではないのでしょうか。

きっとみなさん、将来は地域の医療を支えていく、看護師となってくれることでしょう。



暮らしの保健室紹介コーナー

【グリーン・カフェ（幸手市緑台）】



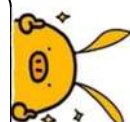
グリーン・カフェでは、フルートやギターの演奏会をはじめ、警察官や会計士さん等からの有意義なお話、椅子を使った優しいヨガなど、毎回色々な催し物が行われ、参加者の方を飽きさせない工夫がなされております。

菜のはなは、毎月第2水曜日午後にお邪魔していますが、そのアイデアには脱帽です。

みなさんの楽しそうな笑顔や真剣な眼差しに、役員さんの努力も報われているように感じ、和気あいあいとした、とても居心地が良い素敵な居場所です。



菜のはな 公式LINE登録
よろしくね！！



地域ケア拠点「菜のはな」の取り組みは、北葛北部医師会（ほっかつほくぶいしかい）のホームページ（<https://satte-med.com>）でも公開しておりますので、ぜひご覧ください。